

第68回 維持管理研究会 議事録

1. 日次： 2016年11月07日(木)15:00－18:00
2. 場所： SGホールディング様
3. 出席者(敬称略) 17名
小田、鮎川、國貞、清水、守護、高桑、高橋、幡谷、平川、柳谷、大田、中谷(記)
(ゲスト) 神津、宮澤、葛西、山本、田中
4. 研究内容

(1) 佐川東京ロジスティクスセンター 見学

全国から関東地区への配送拠点であり、数10万個／日を各地域拠点へ振り分けている。(写真参照)
各家庭へのデリバリーは、各地域拠点から配送されている。

建物には、強力な筋交いも入っており大きな地震にも十分に耐える対策が施されていた。また停電対策として、バッテリーを準備しているが、今後は長時間の対応として、発電自動車を検討されているとのことであった。



(2) SGHグループのBCP/BCM ～幡谷様

危機対応能力を高めるために、さまざまな訓練実施や過去の大災害対応時の問題点を改善し、ロジスティクスの社会インフラとしてのミッションを社員全員に周知徹底されている。

特に改善活動として、95年の阪神淡路大震災での課題では、避難所の要望や必要なものが十分把握出来なかった反省から、東日本大震災ではチェックシートにより必要なものを必要な時期に必要な分だけを届けるというミッションがクリアされていた。

熊本震災では、他社に先駆けて「営業所受取サービス」を行い、被災者に大きく寄与していた。また熊本県や熊本市への配送支援により、スムーズに避難所への配送が行えた。

PDCAがキッチリと回っており、研究会メンバーは大変参考になり大きな刺激を受けた。



(3) 佐川急便レジリエンス認証取得について ～山本様

重要な社会インフラのひとつである物流を担う企業として、国土強靱化に資する活動を継続的に積極的に取り組んでいる。

①目標

- ・原則として宅配便の業務を中断させない。(RTO 1日)
(甚大な被害を受けた被災地では、一週間以内に営業所受取サービスを再開を目指す)
- ・指定公共機関の支援として、緊急支援物資の輸送体制を24時間以内に確立する

②主な取組み

- ・教育・訓練
 - …大規模災害訓練、新型インフルエンザ対策訓練、津波対策訓練などを実施
- ・情報収集・利活用
 - …BCPカルテ(リスクレポート)として全国の営業所におけるハザード情報を評価しマップ化して可視化している。
 - …防災白書(1回/年)を発行
- ・ハード対策(抜粋)
 - …自家給油スタンド(インタンク)の設置 全国129か所
 - …非常用電源設備 全国14拠点
 - …CNGトラック(天然ガス)やEV(電気自動車)の導入推進 など

※レジリエンス認証でのポイントは、教育・訓練を継続的に実施し、問題点・課題を改善していることが大きなポイントである。

5. その他

次回研究会

12月15日(木) 神田オフィス

BCMの評価基準について検討(予定)

以上